

**タイガー魔法瓶が小学生にとって身近な“水筒”をテーマに、
プラスチックごみ削減やSDGsについて学ぶ特別出張授業を実施！
～理想の水筒の考案やリサイクル活動に児童がチャレンジ！～**

熱制御テクノロジーで世界をリードするタイガー魔法瓶株式会社（社長:菊池嘉聡、本社:大阪府門真市）は、2024年7月4日（木）に学校法人大阪初芝学園はつしば学園小学校にて、小学4年生89名を対象に、身近な“水筒”をテーマに、プラスチックごみ削減やSDGsについて学ぶ特別出張授業を実施いたしました。



この特別出張授業は、24年度よりタイガー魔法瓶が立ち上げた「タイガー魔法瓶 マイボトルでSDGsプロジェクト for School」の一環で、将来を担う子どもたちに身近なマイボトルの使用や魔法瓶リサイクル活動を通じて、地球環境や温暖化について考えることを目的に、第一弾「初芝立命館中学校×校内SDGs」、第二弾「慶應義塾中等部×支援プロジェクト」、第三弾「大阪樟蔭女子大学×プラスチックごみ削減」と、取り組みを行っております。

今回は、第四弾として人生の中でより早く「マイボトルのサステナブルアクション」に触れて選択肢を増やしてほしいという思いから、本プロジェクトで初めて小学生を対象に授業を実施。はつしば学園小学校の未来を担う子どもたちと、プラスチックがもたらす自然環境への影響と、マイボトルで取り組めるサステナブルアクションについて学びました。

授業では、身近なプラスチックの製品を考える場面や、まだまだあまり知られていないステンレス製ボトルの回収ボックスのご紹介、また、実際に水筒に触れて理想のマイボトルを描くワークなど、様々な角度から小学4年生の視点で自然環境やマイボトルについて考えていただき、授業を受けた児童からは、「自分が使いたいと思うような好きな水筒の絵を描けて楽しかった」「水筒を回収できるボックスがあることを知らなかったから勉強になった」「赤ちゃんのときに使った水筒をリサイクルできてうれしい」などといったお声が上がりました。

タイガー魔法瓶は、生徒の皆様にとって身近な“マイボトル”を通して、学校や生徒の皆様と一緒に環境について考えるきっかけづくりを行うことで、持続可能な社会の実現に向けて貢献してまいります。

「身近な“水筒”をテーマに、プラスチックごみ削減やSDGsについて学ぶ特別出張授業」内容

2024年7月4日、真空断熱ボトル サーキュラーエコノミー推進担当より、はつしば学園小学校4年生89名へ「マイボトルのサステナブルアクション」に関する授業を行いました。普段から身近にある“水筒”をテーマにしていたので「家にあるのと同じかも!」「この中だったらピンクの水筒をマイボトルにしたいな」というお声が上がる場面もありました。また、これから理科の授業で習う予定である「熱の伝わり方」と、魔法瓶の真空断熱構造についても、児童の皆様はメモを取って真剣に話を聞いておりました。

<授業内容>

①プラスチック削減のためのマイボトル推進について

プラスチックがもたらす自然環境への影響をもとに、児童が生活の中で実践できる環境保全への取り組みの一つとして、マイボトルの紹介を行いました。また、当社のコアコンピタンスの一つである真空断熱技術も説明。熱の移動の3要素「伝導」「対流」「放射」と、真空断熱ボトルの保温・保冷の仕組みについて、実際のボトルを見本として用いた構造の説明を行いました。

②使用済みステンレス製ボトルの回収について

当社では使用済みのステンレス製ボトルの回収ボックスを全国400カ所以上に設置しております。素材がステンレスであることが明白なボトルをまとめて回収することで、リサイクル効率をあげて、純度の高いステンレス原料が確保できることを紹介。学校に実際の「使用済みステンレス製ボトルの回収ボックス」をお持ちし、体験していただきました授業内では28本ものボトルが回収ボックスに集まりました。



タイガー真空断熱ボトルのご紹介

タイガー真空断熱ボトル（ステンレス製ボトル）の4つの約束

健康配慮、人権配慮、環境配慮を実現するためにタイガー真空断熱ボトルでは、「NO・紛争鉱物」「NO・フッ素コート」「NO・丸投げ生産」「NO・プラスチックごみ」の4つの約束を掲げています。

「4つの約束」について詳しくはこちら：

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/about-us/sustainability/>

タイガーボトルの4つの約束。

NO・紛争鉱物
NO・フッ素コート
NO・丸投げ生産
NO・プラスチックごみ

未来を水筒につめて
#タイガーボトル



タイガー真空断熱炭酸ボトル MKB-T型



当社独自の炭酸対応せん構造「BubbleLogic（バブルロジック）」を搭載。冷たい飲み物や、ホット飲料、炭酸飲料も入れられるので、学校生活のあらゆるシーンでご活用いただけます。

お手入れの楽な「スーパークリーンPlus（プラス）」加工で、食器洗い乾燥機にも対応しているため、毎日使いやすい工夫の詰まったボトルです。

・サイズ： MKB-T036(0.36L)/MKB-T048(0.48L)/MKB-T060 (0.6L) ※写真はMKB-T048 (0.48L)
・色柄： ストーンブラック<KK>、レイクブルー<AL>、イーグレットホワイト<WK>

タイガー真空断熱ボトル 一覧WEBページ：

<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/product/list/vacuum-insulated-products/>

参考資料 | タイガー魔法瓶が構築した再資源化モデル



ご家庭で不要になったステンレス製ボトルを地域の学校や企業の場合において回収し、リサイクル専門業者へ集約。集まったリサイクル原料から再生ステンレス材および再生PP（ポリプロピレン）樹脂製品を生産します。

再生ステンレス材は新たな製品へと生まれ変わり再びお客様の元へ、再生樹脂製品は当社の各生産工場にて活用するといった再資源化モデルを構築します。

モノを消費・使い捨てにするのではなく、再資源化することで、環境負荷低減と持続可能な経済成長を両立させるサーキュラーエコノミー（循環型経済）の実現を目指します。（再生ステンレス材を利用した製品は、真空断熱ボトルのみとは限りません。）

サーキュラーエコノミー特設ページはこちら
<https://www.tiger-corporation.com/ja/jpn/feature/sdgs/>

ステップ1
ステンレス製ボトルの回収



自治体や販売店に回収ボックスを設置しています。

ステップ2
リサイクル専門業者にて再資源化



ボトル本体とせんに分けられ、ボトル本体からステンレス原料、せんからはPP樹脂（ポリプロピレン）原料が、再資源化されます。

ステップ3
リサイクル原料を使用し、ステンレス材・樹脂製品生産



ステンレス原料は、ステンレスメーカーへ引き渡され、新たなステンレス材に生まれ変わります。PP樹脂（ポリプロピレン）原料は、樹脂製品メーカーへ引き渡され、樹脂製品（当社工場で使用する樹脂製ボックス）に生まれ変わります。

ステップ4
再生されたステンレス材を活用し製品化。お客様の元へ



ステンレス材は、みなさんの身近にある様々なステンレス利用製品に生まれ変わり、ご家庭へ。
※再生ステンレス材を利用した製品は、真空断熱ボトルのみとは限りません。